



Rotary



東京八王子西
ロータリークラブ

Report

2021-22 No.10 令和4年3月25日

●会長標語

会長 金子 裕二

みんなでロータリー

今週のプログラム

- 第2677回(3/25)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*三祝
*卓話：歌舞伎・文学研究家 高木秀樹氏
テーマ「八王子車人形という芸能―国重要無形民族文化財指定と今後への期待―」

次回のプログラム

- 第2678回(4/1)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*三祝
*卓話：国際ロータリー第2750地区
2021-22年度ガバナー 三浦真一氏
テーマ「ガバナーに就任して思うこと」

卓話「児童養護施設と企業とのパートナーシップが子ども達の社会参画の精度を高める」

2022年1月28日



NPO法人
フェアスタートサポート代表 永岡 鉄平 様

八王子にある児童養護施設において、もうすでに物品提供や資金援助などの支援は受けていますが、今回は就労支援という観点からお話をさせていただきたいと思えます。

児童養護施設で生活している子どもたちは、だいたい18歳を節目として施設を出て、自立することになります。日本全国で施設は600ほどあります。現在、25000人程の子どものうち、25000人程の子どものうち、子どもたちが18歳のリミットを迎えて自立をしているという状況になります。ただ、そういった施設を巣立った子どもたちが、その後どうなっているかということについて、ようやくここ数年で調査を始めて、だいぶ課題として

て浮上してきていますけれども、蓋を開けてみますと、けっこうな割合でワーキングプアになっているというところが分かってきました。

我々としては、せっかくの若い貴重な人材が非常にもったいないことになっていっていると感じておりまして、どうしたらそれを事前予防できるかということにフォーカスして、この11年間就労支援を行なってきました。その中で何が有効かというところ、各児童養護施設が、いわゆる「就職」と学校任せではなくて、従来から地域企業の方と繋がりをもつて、就労支援においても企業の方々と連携していくことが、本人たちの人生の歩みを強いものにすると思っております。

施設の子たちは、施設はある意味、家代わりなので、そこから中学校・高校に通っています。ですので、就職活動や受験というようなことも、施設外の同世代の子どもたちと同じです。しかしながら、就職後・進学後のドロップアウト率が高いという数字が出ております。たしかに、頼れる親がないということや金銭的・精神的な面でハンデを負うということなどは推測されますが、それにしても高い数値があつて、

ワーキングプアになりやすいという事実はなんとかしないといけないと感じております。その課題解決の鍵を、企業が握っているというふうに私たちは考えています。

NPO法人 フェアスタート サポートについて

本拠地は横浜の中区にあり、駅で言うと桜木町駅・馬車道駅のあたりが私たちのホームグラウンドになっています。

横浜で活動を始めて、神奈川県全域、千葉、埼玉、静岡、茨城、群馬、この辺りまでエリアを広げながら活動しています。なぜ、このようにエリアを広げているのかといいますと、我々のような児童養護施設の子たちの就職支援を行っている民間団体というのが、あまりないということがあります。その要因というのが、障害者支援と違って、国からお金が下りてこない、いわゆるボランティア活動に近い状況にならざるを得ないということになります。しかし、この活動は我々としてはとてもやるべきだと考えているので、なかなか同じような活動を行う団体さんが生まれないのであれば、我々が

しっかり日本広しと頑張っているというところで、活動を関東から全国へ広げようとしているという状況です。

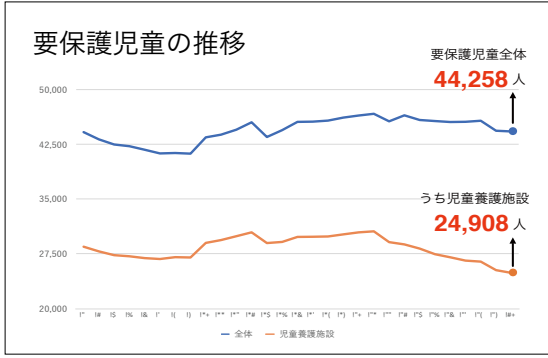
活動資金はどうしているのかというところ、ご寄付や会費、助成金などです。多くは助成金で賄われており、ボランティア活動をしているNPOに対して財団や行政が活動支援金として助成金を出すということがありますので、毎年申請書類を書いて、プレゼンテーションをして、活動資金をかき集めております。大抵年間予算2500万くらいで、職員7人体制でやっています。

活動内容は、大きく分けて2本柱でやっています。一つはキャリア教育で、これが活動の9割を占めています。もう一つがアフターフォローです。我々が関わりを持った若者たちに関しては、友人・仲間という感覚で付き合うということを継続して、イベントや食事を行なっています。ただ、一番力を入れているのが、キャリア教育でして、本人たちが就職活動の時に、ちゃんとそれなりの知識や経験を元に自分はどういった仕事をしてみたいと考えるように材料を提供するということをしています。

） VTR紹介 ）

ここからは数字を用いて児童養護施設の現場をお伝えします。現在、全国600ある施設の中で、下は2歳くらいから上は18歳くらいまで約25000人の子どもたちが生活しています。

図にあります要保護児童というのは、保護を必要とする子たちの全体の母数になります。そこから児童養護施設や里親家庭など数々の選択肢に振り分けられて行きますが、日本では7割くらいが児童養護施設に行くということになります。



本人の保護された背景ですが、30年ほど前は孤児とか遺児とかに近い理由が一位を占

めていました。しかし、現在は虐待が背景にあつて、親と一緒に暮らせない、暮らさない方が多くなっています。特に虐待に関しては、年々うなぎ上りになつており、直近の令和になつてからの数字では20万件近い件数が報告されています。



施設は18歳がひとつの節目となつていきます。高3で施設を出て、一人暮らしをして就職活動をするとなると、なかなか本人たちにとって厳しいところがあります。本人たちが一番最初に困ったかというところ、お金より孤立・孤独感ということが行政の調査結果から明らかになつていきます。

2人が就職を選択する状況になつていきます。ただ、進学に関しては、せっかく進学できたとしても3割くらいが中退してしまつていくというデータがあります。一般的な進学者の中退率が2%と言われているので、それと比べるとかなり高い数値となつていきます。なぜかという理由のつた調査では、アルバイトとの両立ができなかったという理由が多く挙げられています。昨今、給付型の奨学金もだいぶ充実してきているので、学費や授業料がネックになつて進学を諦めるというケースはかなり減つてきました。ただ、家賃や生活費といった毎月の維持費がかかります。ここはアルバイトで稼いでいかないと生活を維持できないので、やはり施設出身者たちに関しては、昼間学校に行つて、その後アルバイト、土日もアルバイトといった生活を過ごすパターンが大変多いと感じていて、結果的にそれが10人いたら3人くらいがちょっと疲れましたが、というふうになつていくのではないかと思います。

要因の一つとして我々は就職先の業種の偏りに着目しています。圧倒的に商業・サービス業が多いです。具体的な内訳をみていくと、一位が宿泊とか飲食なんですね。なぜかというところ、住み込み就職という文化が根強くある。社宅・寮がありますという会社があれば、仕事と同時に住まいも手に入るの、楽、保証人の問題も、うやむやにできるということで、結果的に就職先を選ぶ順序が、仕事内容ではなく条件になつていくので、なかなか限界があるなど感じていきます。

具体的な行政のデータで言いますと、だいたい月の収入が15万円に届いていない若者が半分を占めています。状況が分かつてきています。もっと言うと、20万の収入を超えているのが10人いたら3人くらいという状況で、非常にワーキングプアに近い状況で本人たちが過ごしているということが言えると思います。こういう状況に対して私たちは何をすればいいの。カレーのCOOCOの創業者 宗次徳二さんは児童養護施設のご出身なんです、この宗次さんがご自身の経験から「夢は無理して持たなくていい。小さくてもいいから目標を持てるように育ててあげてください」というお話をされてきました。目標のあるないで、本人たちのその後の歩みが変わっていくのだからというふうを感じています。いかに本人たちが施設で生活をして高3で施設を出るまでに目標を持てるように応援するかが大事なんだろうということとをすごく感じました。

実は我々もそういうことをこれまで実践してきました、中学・高校のうちに仕事体験などの機会を与えて、自分の将来のことをちゃんと考えられることができる子たちの離職率は、そうでない子たちに比べて低いということがデータで分かっ

本人の保護された背景です

施設の子は、進学が3割、就職が6割、3人中

1年以内で辞めていくと

ワーキングプアというのは、

低いということがデータで分かっ

例会報告

第2670回・2022.1.28(金)

できています。ですので、本人たちに施設にいる間に様々な職業を知る機会、体験する機会、それを通じてたくさんの方の大人のロールモデルに触れていろんな価値観を吸収し、安心できるいい大人もいるんだということをも本人達を感じられる機会を提供することによって、自然に本人たちが育まれていく、道に迷うということが減ってくるんじゃないかと思っています。

我々企業はそういった機会をいかに提供するかということが課題になってきているし、やるべきではないかと感じています。

我々団体としては、これからの10年でやっていきたいことは、日本にたくさんある企業の方々に、よかつたら各施設で暮らしている子どもたちにキャリアの応援を一緒にしませんか？というふうなお話をさせていただいて、是非にとおっしゃっていたら企業の情報や各施設にお伝えして、施設が企業の方々に連絡をとって関係性を築きながら応援をしていく、その関係性づくりを日本全国にたくさん輪として広げていきたいなというふうに考えています。

この動きに関しては、たしかに昨今のSDGSとかCSRといった活動にかなり親和性のある内容ではあると思います。ただ、それだけではなくて、もし人手

不足の企業さんとか特に中小企業さん多くいらっしゃると思うんで、この動きに関しては人材不足解消にも貢献できると感じています。なぜかというところ、我々これまで700人くらいの子たちに見学や体験の機会を提供してきたんですけども、そうしていくと本人たちが就職活動をしていく時に、そこを就職先にと考えるケースが一定数あるんですね。そういった形で就職するとすごく歩留まりがいいです。本人も馴染みがあり、安心した上で就職するので、ミスマッチが起こりにくい。ですので、そういった形の就職がこれからどんどん増えていくと、企業も若者も双方にとってハッピーじゃないかなというふうに思っていますので、そういった可能性もこの活動は秘めていると思っています。

最後になります。こういう形で我々としては企業と施設が連携して、その子の将来に関して地域の企業と施設がコミュニケーションをとって共に相談しあえる関係になりながら、子どもたちを社会に送り出すというようなことが、日本にたくさん広がっていくといいなと感じて、引き続き火付け役として活動をしていきたいと思っておりますので、応援していただければと思います。おられます。



◇司会 加藤直也会場監督補佐
◇開会点鐘 金子裕 二会長
◇Rソング それでこそロータリー
◇お客様のご紹介 金子会長
NPO法人フェアスタートサポート代表 永岡鉄平様
Tomoko G Malaghan 様



出席報告
森明出席委員

◇出席報告 森明出席委員

会員107名中50名出席。
出席率51.02%。前回1月14日の出席率66.33%を76.53%に修正します。

◇二二三発表 鈴木重春財務委員



二二三発表
鈴木重春財務委員

◇会長挨拶 金子裕 二会長
*夕べから立てこもり事件の

ニュースが続き、当初意識ありと言われていた人質の医師が今朝9時頃のニュースでは死亡と伝えられました。先日は大学入試の共通テストでカンニングが行われる等、暗いニュースが続きました。



会長挨拶
金子裕 二会長

*そのような中ですが、御嶽海が大関に昇進したという明るいニュースもありました。
*まもなく北京での冬季オリンピックが始まります。日本の若い選手が大活躍する姿を見るのが今から楽しみです。

◇幹事報告 三村裕介幹事



幹事報告
三村裕介幹事

*昨日お知らせをお送りいたしました。地区大会が5/12(土)に延期になりました。それに伴いまして、地区大会に振替としておりました2/25(金)は通常例会に変更になりますので、ご予定のほど宜しくお願いいたします。
*八王子5クラブの予定表ですが、地区大会の延期による例會変更連絡がまだ届かないクラブがございますので、各クラブの予定が揃いましたらご

内いたします。
*本日はウィークリー9号をポイントアップいたしました。
◇ご挨拶
石森浩元 地区大会実行委員長
副委員長



地区大会実行
委員会副委員長
石森浩元会長

◇スピーカー紹介



スピーカー紹介
船江栄次プロ
グラム委員長

スピーカー：NPO法人フェアスタートサポート代表 永岡鉄平様
テーマ「児童養護施設と企業とのパートナーシップが子ども達の社会参画の精度を高める」
◇閉会点鐘 金子裕 二会長

二二三ボックス

2022.1.28(金)

◆金子会長・永岡さまの卓話
楽しみにしています。

◇三村幹事・マラガンさんようこそいらっしゃいました。

◇鈴木重春・2月3日は節分です。私は昭和46年より今年で、高尾山50回修行です。

◇船江・永岡様、卓話をよろしくお願ひします。

R財団奨学生 大嶽浩司氏近況報告

2022年2月4日



R財団奨学生 大嶽浩司氏

皆さんこんにちは、2020ー2021年度ロータリークラブ奨学生の大嶽浩司と申します。皆様のご支援によって、現在スタンフォード大学スクール・オブ・メディスン、いわゆる医学部のマスター・オブ・サイエンス・イン・クリニカル・インフォマティクス・マネジメントで学ばせて頂いています。重点分野の中の疾病予防と治療というように、現場に支障できるような遠隔医療の仕組みをなんとか構築したいと考えて留学を致しました。想いを聞いて頂いたスポンサークラブとして東京八王子西ロータリークラブのご支援を得て、現在アメリカカリフォルニア州メンローパークロータリークラブにホストクラブになって頂いて日米の架け橋というようなプロジェクトとして留学をさせて頂いているという次第です。

現在学んでいるのは、広大なキャンパスを持つスタンフォード大学です。非常に快適な環境が揃っています。丁度私が留学を始めた6月からインパーソンの授業が始まりまして、幸運にもずつとすべての授業をインパーソンで受ける事ができるといいうような環境にも恵まれています。

こちらのマスター・オブ・サイエンス・イン・クリニカル・インフォマティクス・マネジメント（略称MICM）ですが今年から始まった新しいプログラムで医学部だけでなくビジネススクール、あるいはエンジニアリングスクールから先生達がいらして、ITとビジネスデザインを駆使したヘルスケアのリーダーを育てるといいう理念のもとに、24人の生徒で学ばせて頂いています。私以外に外国から来られている方が3人おります。全体の大体3分の1ぐらいが医師、残る3分の1ぐらいが医療あるいはバイオエンジニア関係、残る3分の1が医療とは関係のない金融であったり、その他純粋にITの方とかがいまして、それぞれのバックグラウンドを活かしてミックスされた環境で、楽しく学ばせて頂いております。

こちらで自己紹介致します

と、東京大学医学部を卒業したのちに帝京大学市原病院麻酔科の森田茂穂教授に「人は生かされるのではなく、生きろ」というような教えを受け、非常に感銘を受けて彼の元で医者の修行を致しました。教授の勧めでその後オーストラリア、アメリカ、アメリカでもワシントンDCとフロリダで麻酔の研修を行い、さらに教授の勧めで、今後の人生にはビジネススクールなどを出た素養を持った医師が必要だとお考えで、感銘をしてシカゴ大学のビジネススクールを経て、その後いわゆる研修医のような形で学問を学んだだけではなく、実践もしなければということでは日本とアメリカでマッキンゼー&カンパニーというコンサルティング会社で2年間働かせて頂いて、その後医療に戻ってまいりました。

2013年から昭和大学医学部の麻酔集中治療の教授を拝命して遠隔ICUシステムをアジアで初めて導入するというような事も周りの協力でさせて頂いております。現在、今年からスタンフォード大学医学部に在学をしているというような事になります。

国際貢献活動は、関わらせて頂く機会が多く、2000年、

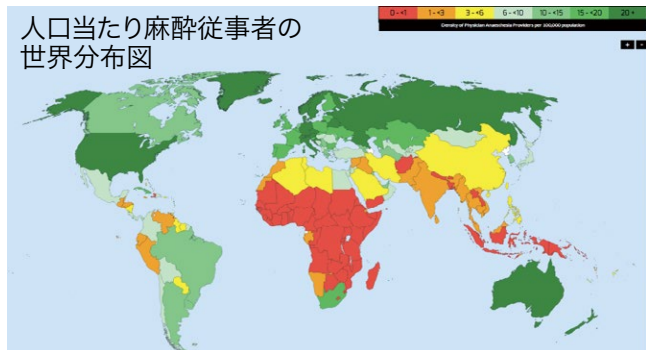
まだ医者として3年目の頃に、アドラー・ジャパンの主催するネパールでの口唇口蓋裂手術にプロジェクトの麻酔科医として参加し非常に衝撃を受けました。その後、昭和大学に移ってから曾野綾子さん（日本財団）との共同プロジェクトでマダガスカル共和国の唇口蓋裂医療支援というのをやっているとこのような事でですね、麻酔科も積極的に参加しようということでも人材や物資調達などに関わって、ずつとこちらのプロジェクトをやつて来ています。

医者としての原点は、3つぐらいありまして1つは一番最初麻酔科医で始めたので麻酔科としてのバックグラウンド、こちらは日本とアメリカとオーストラリアで学びまして、色々な文化の違いなどを学びました。ただ共通のものがあるというようなことも学ぶ事ができました。その後、集中治療にシフトしまして、新しいICUを立ち上げたり、先ほど申し上げたような遠隔ICUを導入したりというように、最先端の技術にふれる事ができました。また管理者としては、国際交流を推奨したり、学術集會を主催したり、バックグラウンドを活かして多くの海外の医師などと交流をしたり、ある

いは若手海外医師が日本で研修出来るような環境を作っていました。

残念ながら世界の医療資源の配分は非常にばらつきが多く、この地図を見て頂くと分かるように麻酔科医が足りない、いわゆるレッドサインが出ている国がこのように沢山ある一方で、非常に充足している緑が深い国というのがあり、このようなアンバランスな現状になっています。残念ながら50億人は安全な手術が受けられるという環境ではないというのが現状なんです。どうやったらこういう地域に、麻酔や集中治療を無理無く提供出来るか、1回1

人口当たり麻酔従事者の世界分布図



回派遣で行くというのはなかなか難しいので、遠隔医療の仕組みを使えばレベルを上げることが出来るのではないかと、う風に考えて留学を決意致しました。こちらに来るGoogle、Apple、NETFLIX、Facebook、Intel、あるいは医療系のGenetechなど、すべてシリコンバレーから始まって来ています。こういった会社が非常に身近にあるというのは、ものすごくインパクトですね。思った以上に新しい事を始めるというような土壌がシリコンバレーというのは揃っているなという風に感じています。こちらとスタンフォードの持つ、いわゆる理想数などをかけ算してデジタルイノベーションを活用して、途上国地域に高度医療を届けたいというような事を画策する毎日であります。

大学で学ぶ授業というのは大きく分けて3つありまして、「ビジネスの素養」いわゆるシリコンバレーです。スタートアップビジネスの経営者から学ぶことというのは非常に多く、そういったケースから色々なビジネスの素養を学んでいます。そして「テクノロジーの理解」ということでITビジネス、ITをどのように医療に応用して行くかというように、非常に重要なものは生命倫理、あるいはバイオデザインというような、医療に特化

したビジネスモデル、そして医療へのアクセスを高めて質を上げて、コストを下げるのどのようになITを活用するかというような他産業のビジネスケースなどを学んでいます。また、「アメリカの医療提供体制」というものも学ぶ機会も多く頂いています。かつて日本で学んだ事よりも今の最新のアメリカの医療事情、あるいは、いわゆるオーガナイゼーション・ビヘイビア組織行動論に基づいた判断などを学んでいるという次第です。

ホストクラブの方々には大変良くして頂いております。ホストクラブのパーティーなどにも参加させて頂いておりますし、チャリ

ティーで自転車街を回るツール・ド・メンロというようなもの、の実行委員として、実際に道路に自転車や人が困らないように矢印を貼るようなボランティアのお手伝いなどもさせて頂きました。また家族も一緒に留学して来ていますので、家族も非常にこの新しい環境をエンジョイしています。クラスメイトやホストクラブの方々に囲まれて本当に毎日が感謝しながら勉学に励ませて頂いている次第です。どうも今日はこのような発表する機会を頂きましてありがとうございます。今後ともよろしくお願致します。

100%出席表彰



- | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| ★8年 | ★9年 | ★9年 | ★9年 | ★9年 | ★10年 | ★11年 | ★12年 | ★22年 | ★23年 | ★32年 | ★32年 | ★34年 | ★39年 |
| 山田和夫 | 伊藤則久 | 市川隆 | 小沢孝志 | 中村晋也 | 草間剛 | 大田吉彦 | 蔵本健 | 城所正雄 | 鈴木重春 | 塚本達二 | 馬場榮次 | 檜崎博 | 田辺隆一郎 |
| ★1年 | ★2年 | ★2年 | ★3年 | ★3年 | ★4年 | ★4年 | ★5年 | ★5年 | ★5年 | ★6年 | ★6年 | ★7年 | |
| 渡辺範義 | 長尾健 | 高山英一 | 山本俊明 | 門倉裕 | 船江栄次 | 町田修一 | 立花探 | 末木博 | 角田昌己 | 明利彊 | 井上知巳 | 久保英生 | 福田邦人 |



二月三祝

如月きさらぎ

誕生花 マーガレット
誕生石 アメジスト

会員誕生祝

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 磯間 正裕 | 小林 孝行 | 鳥羽 正浩 | 小西 睦人 | 駒津 栄雄 | 西川 誠治 | 鈴木 重春 |
| 52回 | 49回 | 51回 | 53回 | 66回 | 75回 | 86回 |

会員令夫人誕生祝

- | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 檜崎あつ子様 | 坂下 麗子様 | 小沢富美代様 | 鈴木理恵子様 | 原 映美様 | 小西由美子様 | 北澤 叔恵様 |
|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|

結婚記念祝

- | | | | | |
|------|-------|------|-------|-------|
| 山口 寛 | 石岡 裕司 | 池田 勝 | 町田 修一 | 伊藤 則久 |
| 40回 | 29回 | 26回 | 19回 | 11回 |

例会報告

第2671回・2021・2・4(金)

◇司会 相川博会場監督



司会／
相川博会場監督

◇開会点鐘 金子裕二会長

◇君が代斉唱

◇Rソング 奉仕の理想

◇食事と交歓 和食

◇出席報告 西川誠治出席委員



出席報告／
西川誠治出席委員

会員107名中62名出席。

出席率63・27%。前々回1月

21日の出席率67・53%を

81・63%に修正します。

◇ニコニコ発表

久保英生財務委員長



ニコニコ発表／
久保英生財務委員長

◇会長挨拶 金子裕二会長

*2/1(火)に第3回目接種をオクトーレ11階で受けてまいりました。接種自体はたいしたことありませんが、その後の筋肉痛が大変でした。



会長挨拶／
金子裕二会長

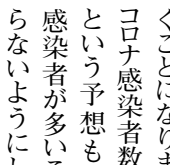
*オミクロンが大変流行っております。昨日は500名を超えております。八王子は確かに大きい都市ですが、ちよつと異常に思います。

*来週は建国記念日で休会となりますが、2月の18日の例会も集まらない例会とさせていただきます。

約3週間間が空くこととなりますが、3月にはコロナ感染者数も下がってくるという予想もありますので、感染者が多いこの時期に集まらないようにしていただいております。

ウイルスに気をつけて過ごしていただければと思います。

◇幹事報告 三村裕介幹事



幹事報告／
三村裕介幹事

*本日の理事会で、トンガ王国災害支援金を予納金より一人当たり10000円支出することが承認されました。

*4/7(木)にボリオ根絶チャリティゴルフが青梅ゴルフ倶楽部にて、4/20(水)に八王子5クラブ合同親睦ゴルフコンペが八王子カントリークラブにて開催されます。詳しいご案内は後日お送りいたします。

*本日のボスティングは、ガバナー月信2月号と八王子5クラブの予定表です。

◇100%出席表彰 山田和夫出席委員長

◇三祝

会員誕生祝(敬称略)

鈴木重春・小西睦人

西川誠治・駒津栄雄

小林孝行・鳥羽正浩

磯間正裕

◇三祝

会員誕生祝(敬称略)

鈴木重春・三祝をいただきます。

◇榎崎・三祝ありがとうございます。

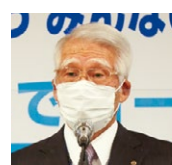
◇磯間・2月誕生日、三祝ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

原 映美様・小西由美子様
北澤叔恵様
結婚記念祝 (敬称略)
石岡祐司・池田 勝
町田修一・伊藤則久
山口 寛

◇R財団奨学生紹介
田辺隆一郎カウンセラー



R財団奨学生紹介
田辺カウンセラー

R財団奨学生 大嶽浩司氏
「近況報告」

◇閉会点鐘 金子裕二会長

ニコニコボックス

◆2022・2・4(金)

◆金子会長・先月、三祝をいただきました。

◇三村幹事・2月も宜しくお願ひ致します。

◇西川・2月6日の誕生日で後期高齢者の仲間入りとなります。

◇鈴木重春・三祝をいただきます。

◇榎崎・三祝ありがとうございます。

◇磯間・2月誕生日、三祝ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

◇池田・結婚記念日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。

東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

https://www.hachioji-west-rc.org

会長 金子裕二 幹事 三村裕介 広報委員会 小林孝行 浅川立憲 宮澤徳光 原 巖 平野智彦 角田昌己 末木 博



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを上げよう : www.rotary.org